



【発信日】令和7年5月7日

【問い合わせ先】

乾側公民館 館長 天木邦治

電話 0779-66-3756

醍醐寺交流事業「乾側っ子田田植え」の実施について

～地域子どもたちが乾側米を通じて地域の歴史を学びます～

乾側をよくする会が、今年度も京都市醍醐寺及び京都市立醍醐小学校とのお米を通じた交流事業を実施します。

まずは、乾側地区小中学生や下庄小学校児童らが「乾側っ子田（いぬいかわっこでん）」で水稻の苗を手植えします。なお、秋に収穫するもち米は、醍醐寺へ奉納及び醍醐小学校へ贈呈する予定です。

つきましては、田植え当日の取材をお願いいたします。

記

- 日時 5月24日（土）午前9時から午前10時頃まで
（田植え作業は9時30分頃に終了予定）
※雨天中止（前日に可否決定します。）
- 場所 乾側っ子田（旧乾側小学校プール跡地の北側）
- 主催 乾側をよくする会
- 共催
 - ・農事組合法人アバンセ乾側
 - ・JA福井県大野支店
- 内容
 - ・地域の歴史学習
 - ・乾側地区小中学生・下庄小学校児童による田植え
- その他 醍醐寺及び醍醐小学校との交流履歴は別紙のとおり

1. 旧乾側小学校と京都市醍醐寺及び京都市立醍醐小学校との交流事業の概要

- ▶ 平成22年度から令和元年度まで、醍醐小5年児童が毎年、乾側小学校を訪問し、田植え交流を実施。11月中旬には乾側小の児童代表が収穫したタンチョウ餅米を醍醐寺に奉納、醍醐小に贈呈するため訪問。

2. 交流の経緯

年度	内容
平成16年	乾側小の児童が、総合学習の時間に乾側地区が京都醍醐寺の荘園であったことを知り、それが縁となり6年生が修学旅行で醍醐寺訪問を開始
平成20年	乾側小が学校田で収穫したタンチョウ餅米をはじめて醍醐寺に奉納
平成21年	醍醐寺で醍醐小学校の校長・児童代表と乾側小の校長や児童代表らが面会し、両校の交流が開始
平成22年	醍醐小5年児童が乾側小を訪問。学校田の田植えを共同で実施
平成23年	乾側小5・6年児童が修学旅行で醍醐小を訪問。7月に醍醐小5年児童が乾側小を訪問
平成24年	醍醐小5年児童84名と乾側小児童が田植え交流 11月に収穫した餅米を醍醐寺に奉納、醍醐小へ贈呈
平成25年	醍醐小5年児童69名と一緒に乾側小児童が田植え交流 乾側小5・6年児童が修学旅行で醍醐寺を訪問し、餅米を奉納
平成26年	田植え交流時に乾側米の「おにぎり給食」をみんなで食べる
平成29年	田植え交流時に乾側米で作った「アバンセ乾側」の米粉パンを給食に提供
平成30年	田植え交流時に乾側米で「セルフおにぎり給食」を実施
令和元年	交流10周年記念。田植え交流・交流給食・10周年記念式典・交流会を実施 5月の修学旅行で5・6年児童が醍醐寺を訪問 10月に醍醐寺より贈呈される桜の苗木を記念植樹実施 11月全校児童と保護者、教職員が京都を訪問し、餅米を醍醐寺へ奉納、醍醐小に贈呈。雨乞い踊り保存会と共に「雨乞い踊り」も奉納 乾側小の醍醐寺訪問に合わせ、乾側をよくする会が「醍醐寺訪問ツアー」を開催。醍醐寺に奉納された餅米が「五大力尊仁王会（ごだいきそんにんのうえ）」の巨大な紅白鏡餅となる。2月頃に切り餅が届く
令和2年	コロナの影響により、乾側小学校のみで田植え、稲刈り、奉納（郵送）
令和3年 3月31日	乾側小学校が下庄小学校と統合
令和3年	乾側をよくする会が醍醐寺交流事業を継承 田植え⇒雨天中止 稲刈り⇒地区児童で実施 奉納・贈呈 ⇒ 醍醐寺、醍醐小学校へ郵送
令和4年	乾側をよくする会が継続して事業を実施 田植え・稲刈り⇒地区児童で実施 奉納・贈呈⇒醍醐寺、醍醐小学校へ郵送
令和5年	乾側をよくする会が継続して事業を実施。 田植え・稲刈り⇒地区児童で実施 奉納・贈呈⇒地域住民と下庄小児童が醍醐寺、醍醐小学校を訪問
令和6年	同上